



2016年7月23日（土曜日）

20周年記念：金峰山～瑞牆山縦走

2日目～①：金峰山～砂払ノ頭～大日岩～富士見平～瑞牆山荘

～Report by 石井 （photo by 参加者のみなさん）

23日未明・金峰山小屋。夜が明けようとしていた



夜半の雨は何処へ行ったのだろう・・・空は澄んでいる



天気が良ければ、有志で金峰山のご来光を拝むことになっている

3：30起床。熊本さん・堀さん・中島さん・石井の4名で山頂に向かう事になった

後で判ったのだが、雄さんはヘッドラの電池切れで断念&残念

お蔭で？冒頭の「大きなお月さん」を、しっかり撮っておいて貰えました



4：00・徐々に空が白み始めた。日の出は4：45分ごろの予定だ



4：25頃・山頂付近に到達した。



一瞬の光芒とは、このことだろう



五丈石（岩）も光を受けて輝きだした。昨年の穂高のモルゲンロートを思い出す



富士山とハヶ岳連峰が、雲海に浮かんでいる



最近流行りの天空の世界にいるような光景だ



見上げれば「早く来ないと日の出が見られないぞ」と、＜後光の射した熊本さんが手招きをされている＞



日の出はまだかいな！（金峰山の岩稜で）



風が強く寒いので、堀さんは岩陰で防御



ベストショットを狙う熊本さんと中島さん（岩が邪魔で回り込めませんでした、熊本さんごめんなさい）



いい御来光でした・・・と、石井



左下に、この後縦走する、砂払ノ頭・大日岩。右奥には、明日登山予定の瑞牆山の岩稜も見え始めた
ローソク岩もはっきりと見える。なんだか、映画のシーンにあるようなミステリアスな眺めではありました



朝のショーを楽しみ、降りて行くと、布目さんが途中までお散歩されていました。一緒に戻ることにする

5:30・さて、小屋に戻れば「朝ご飯だ〜!!」 ー仕事の後の食事は格別だ〜
おととと・・・。そうは問屋が・・・



おかゆさんでした?これっきり・・・。でも、トッピングがいろいろで案外旨かった



昨夜、飲み過ぎた「胃」には優しいかも。オレンジだってあるし・・・初めての経験でした



左がおつくりになった「名前は聞き忘れました」が、
感じのいい方でありました。夜のワイングラスでの
サーブといい。恐るべし「金峰山小屋」 「秋の紅葉も
良いので是非」とおっしゃっておいりました。お
布団やお手洗いなどもgoodです

ちなみに、今夜はクラブツーリズムの団体含めて、60名ほどが宿泊予定で満杯
オーナーなど、応援が入るとの事。昨日の宿泊でよかった!!



出発前の「記念撮影」。小屋のお嬢さんにも入って頂きました。天気晴朗・気温15℃



準備を済ませ、6時18分出発。



岩の上のケルンに「ほしがらす」これだけ綺麗に撮れたのは珍しい



光線の具合がいいので小屋の
入り口の岩の前でもう一枚



6:20・それでは、正式?に出発。目指す「砂払ノ頭」方面の稜線がくっきり見える
 本日の計画は、瑞牆山荘までの高低差1000mほどを降り・行程4時間30分のゆったりペースだ
 朝食が予定より早まったので、当初のプランより1時間20分早いスタートになった



なんて～素敵な、朝だろう～、と思って進むと、こんな「ところ」が



ちょっと面白い感じです
 おかゆさんと同じで
 初めての遭遇でありました
 高所恐怖症?の方には不向き



金峰山一帯は、高山植物（花）がほとんど無いようで、どうも、石楠花の群生地の様だ



暫く行くと、右手・遠目に瑞牆山の全貌が



珍しく「ゴゼンタチバナ」あり



朝露に濡れて光る草木の緑が映えている



スイスイ行くと風の影響か？森林限界的な稜線に出て、気分のいい尾根道を進めるので皆さん快調だ～



新・3?登場



熊本さん命名を！OKのサインか？乞うご期待



夏の景色になって、空気に透明感が出て来た。左手瑞牆山の右方は小川山（2418m）か？



ドンどこ・DONドコ・と歩みは軽い、ほぼ下りですから。ハヶ岳連峰の稜線もハッキリして来た



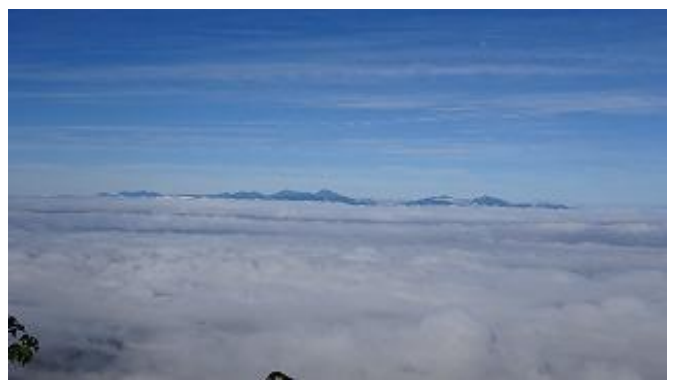
「砂払ノ頭」が見えてきた
(2317m)
2012年の秋に遠征した
四国の石鎚山に似ている、と感じた



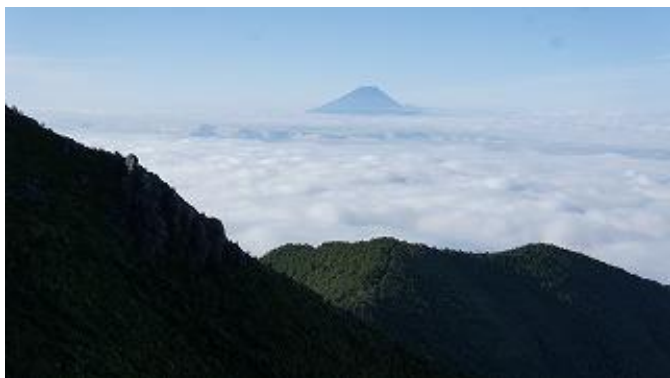
小尾根をいくつか越えると、更に三角錐のピークが近付いて来た



前方・右手には瑞牆山。振り返れば・下って来た、金峰山の「五丈石（岩）」の起立した姿が見える
五丈石（岩）の裏手は結構な絶壁なのだ！



皆さん楽しんでおられます。爽やかな稜線歩きになって来た



岩峰のゴツゴツ感と、富士山とハケ岳連峰の柔らかなシルエットのコントラストが面白い



岩峰群が切れ落ちているのがよく判るようになり、取り付き地点にたどり着いた
 もしや、ここからが核心部・正念場か？ 梯子・クサリ・はたまたクライミング？・・・



隘路を超えると、切り立った断崖が出て来た。近付くとなかなかの高度感だ



これが千代ノ吹上のようなだ（2497m）



なんだか様子が・・・



尾根を下るところで、待望？のクサリ場だ～！



クサリ大好きな川島さん登場



続いて、クサリ初体験？・中島さん



雄さんは、何故かこの笑顔





無事通過し、眺めのいいところで記念撮影



いやあ～、よかったね



花が無いと思っていたところに、「タカネウスユキソウ」と「コケモモ」、突然ですがの登場



これからは、急な下りが続く



7:14

ここが「砂払ノ頭」だ
どんな由緒があるのか不明
大日岩まで40分とある



更に下降すると、突然の笑い声が聞こえた。「田形さん」だ！



皆さんで、ああだこうだとお喋りしている間も、本日3度目の記念撮影で雄さんは忙しい



彼女は、マッターホルン登頂を目指して、只今ハードトレーニング中。今日も金峰山をピストンだ



霧に太陽光線が反射する中、金峰山へ向う田形さん



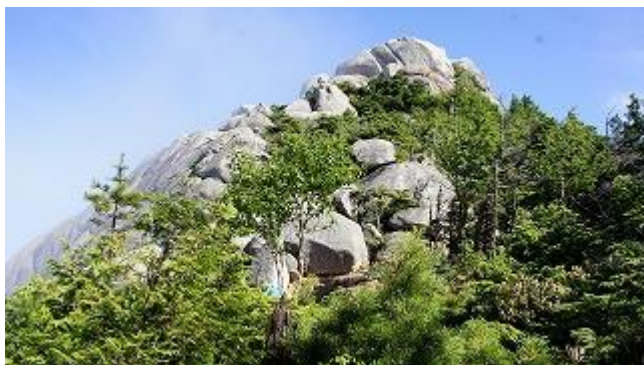
我々は下山を続ける



途中、「ギンリョウソウ」を発見



大日岩の看板が出て来た



これが大日岩だ。どっしりとした花崗岩の塊だった



麓の岩の隙間に「キンレイカ」？



時間に余裕があったので、岩登りで遊ばせて貰えることになった。堀さん・布目さん・石井の3名
下の写真で、何処まで行けたのか確認してください（最近のコンデジの超望遠はすばらしい）



記念撮影の連発銃は続く（4回目）



下降を続けるメンバー



今度はひっそりと「チョウジコメツツジ」



林間に入り安心していたら、突如のクサリ場だ～



今度はスラブ状で、やや濡れており滑りそうだ。慎重に下る



9：30。霧が掛かって来た林間を進むと、富士見平への看板が出て来た



富士見平小屋の手前は「マルハダケフキ」の群落だった



いまの季節の新緑はいい



「マムシグサの実生」？



この辺りでは湿度が高まり、キノコも多い



10:27。富士見平到着



富士山、見えるのだろうか？視界なし



富士見平小屋。テント場に人多し



小屋前で暫し大休止
行動食や飲み物を補給する
瑞牆山荘までは、30分ほどの行程
だ
もしかすると、田形さんが追いついてくるかも？



富士見平からの下りで田形さん合流。早い！



ジャンプと言ったら、本当に飛んでしまった



11:04。軽快に林間を抜け、瑞牆山荘に到着。下りの段差の無い道には強いな〜！！

<本日の縦走路>

「金峰山～砂払ノ頭～大日岩」の区間は、とても楽しめる眺望のいい・快適なコースでした
それでは、23日のレポート①はここまで・・・